【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】平成25年7月4日(2013.7.4)

【公表番号】特表2012-526798(P2012-526798A)
【公表日】平成24年11月1日(2012.11.1)
【年通号数】公開・登録公報2012-045
【出願番号】特願2012-510440(P2012-510440)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｋ　45/00　　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/7076　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　27/02　　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　 9/12　　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　43/00　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｋ　45/00
Ａ６１Ｋ　31/7076
Ａ６１Ｐ　27/02
Ａ６１Ｐ　 9/12
Ａ６１Ｐ　43/00　　１１１

【手続補正書】
【提出日】平成25年5月14日(2013.5.14)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
Ａ$_3$ＡＲ作動薬がＩＯＰの被検者のＩＯＰの低下に有効であり有効成分として前記Ａ$_3$ＡＲ作動薬および生理学的に許容される担体を含有する、前記被検者のＩＯＰを低下させる医薬組成物。
【請求項２】
前記被検者がヒト被検者である、請求項１に記載に医薬組成物。
【請求項３】
亢進したＩＯＰを有する被験者のＩＯＰを低下させるための、請求項１または２に記載の医薬組成物。
【請求項４】
前記担体がＡ$_3$ＡＲ作動薬の経口投与に好適である、請求項１から３のいずれか１項に記載の組成物。
【請求項５】
１日２回の投与に好適な剤形で製剤された、請求項４記載の組成物。
【請求項６】
前記担体が前記Ａ$_3$ＡＲ作動薬の局所投与に好適である、請求項１から５のいずれか１項に記載の組成物。
【請求項７】
目に前記Ａ$_3$ＡＲ作動薬を投与するために製剤した、請求項６記載の組成物。
【請求項８】
前記Ａ$_3$ＡＲ作動薬がＮ^6－２－（４－アミノフェニル）エチルアデノシン（ＡＰＮＥ

Ａ）、Ｎ^{6}－（４－アミノ－３－ヨードベンジル）－アデノシン－５’－Ｎ－メチルウロンアミド（ＡＢ－ＭＥＣＡ）、Ｎ^{6}－（３－ヨードベンジル）－アデノシン－５’－Ｎ－メチルウロンアミド（ＩＢ－ＭＥＣＡ）および２－クロロ－Ｎ^{6}－（３－ヨードベンジル）－アデノシン－５’－Ｎ－メチルウロンアミド（ＣＩ－ＩＢ－ＭＥＣＡ）からなる群から選択される、請求項１から７のいずれか１項に記載の組成物。

【請求項９】

前記Ａ$_{3}$ＡＲ作動薬がＩＢ－ＭＥＣＡである、請求項８記載の組成物。